

まほろばの丘から

[文責]

校長 江頭 雄一郎



後期が始まりました！

秋休みが終わり、後期の教育活動が始まりました。

10月14日(火)の後期始業式の中で、全校の子どもたちに『みんなで』を意識した行動を頑張っていこう。」とお話しました。

学校教育は、集団生活を基盤として成り立っています。そのよさを整理すると、右の表のようにまとめることができます。本校でも教職員がアイデアを出しながら、集団生活を通して将来の自立に向けた社会性や職業選択の幅を広げる学力等を高める学習や活動を工夫しているところです。

これまで以上に教職員「みんな」で、子どもたち「みんな」を支え・伸ばし、「みんなで」だにしっこの合言葉を達成できるよう支援していきます。後期も、本校教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【学校教育のよさ】

①社会性が育つ

- ・協調性や思いやりを学ぶ
- ・多様な価値観を知る

②学力・基礎的な知識を習得できる

- ・教科ごとの体系的な学びが深まる
- ・考える力、表現する力が育つ

③人間関係・コミュニケーション能力が向上する

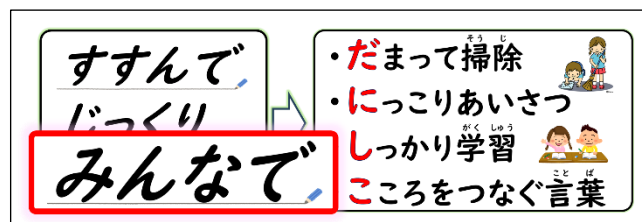
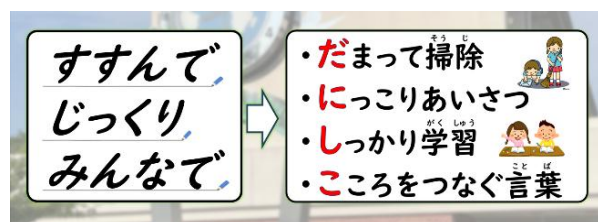
- ・友だち、先生、ボランティアの方との関わりを通して「人間力」が育つ
- ・成長の糧となるトラブル対応の経験ができる

④自己発見・自己実現の場となる

- ・自分の得意、関心が発見できる
- ・成功体験、達成感を味わえる

⑤社会の一員として生きる基盤が育つ

- ・規範意識、公共心が育つ
- ・民主的な社会の担い手として育つ



毎日抱く二つの気持ち

私が行っている朝の校区見回り。子どもたちと挨拶を交わし、地域や保護者の皆様には感謝の気持ちを伝え、そのついでにごみを拾う…。空気もずいぶん涼しくなり、朝の見回りもしやすい季節になりました。

学校に戻ってきたときには、毎日二つの気持ちでいっぱいになっています。まず一つ目は、たくさん挨拶をしてとても清々しい気持ち。そしてもう一つは、写真にあるようなごみがたくさん落ちていることにがっかりした気持ち。

「みんな」が使う場所を「みんな」で大切にする。そんな太宰府西小学校区にしていきたいものです。

